

3 市民・団体アンケート結果

01 | 高山市まちづくりアンケート調査（市民）

① 調査の概要

● 調査の目的

高山市第八次総合計画の計画期間における市民意識の経年比較、評価検証等を行うため

● 調査の期間

令和5年6月29日～8月8日

● 調査の方法

調査地域 高山市内全地域
実施方法 郵送による配布、郵送・インターネットによる回答、無記名式
調査対象 18歳以上の市民、3,000人
抽出方法 令和5年5月19日現在の住民基本台帳から無作為抽出

● 回収結果

発送数 3,000件
回収数 1,156件
回収率 38.5%

● 調査の項目

※下線太字項目を抜粋して本報告書に掲載
回答者属性に関する項目は記載省略

- 高山市への想いや生活環境について
 - ・ 高山市への「誇り」や「愛着」
 - ・ 高山市への定住意向
 - ・ 高山市の暮らしやすさ
 - ・ 日常生活での不安
 - ・ 働く場としての高山市の魅力
- 高山市の市政運営について
 - ・ 市政運営への関心
 - ・ 高山市の今後の重要課題
 - ・ 高山市の取り組みに対する現在の満足度・今後の重要度
- 高山市総合計画について
 - ・ 計画の認知度・理解度
 - ・ 計画の共有（わかりやすい計画）
- 市民によるまちづくりについて
 - ・ 市民によるまちづくりの考え方
 - ・ まちづくりの基本的なルール策定による効果
 - ・ 市民・行政の役割
 - ・ 市民の思いが市政やまちづくりに効果的に反映される手段・方法
 - ・ まちづくり協議会への参加状況
 - ・ 町内会への加入状況
- 将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など（自由記述）

01 | 高山市まちづくりアンケート調査（団体）

① 調査の概要

● 調査の目的

高山市第九次総合計画の策定に向け、各種団体における意識の把握・分析を行い、今後の政策立案の参考とする

● 調査の期間

令和5年6月28日～8月12日

● 調査の方法

調査地域 高山市内全地域
調査対象 市内に事務所等を有する団体 370団体
(まちづくり協議会、地区町内会、市民活動登録団体、福祉関係団体など)
実施方法 郵送による配布、郵送・インターネットによる回答、記名式

● 回収結果

発送数 370団体
回収数 202団体
回収率 54.6%

● 調査の項目

※下線太字項目を抜粋して本報告書に掲載
回答者属性に関する項目は記載省略

- 団体の活動について
 - ・活動に関し困っていること
 - ・活動を充実する上での支援策
 - ・他の組織との連携
 - ・協働でまちづくりをすすめていくうえで重要な施策
- 今後、高山市が取り組むべき重要課題について
 - ・ **高山市の今後の重要課題**
- 高山市総合計画について
 - ・計画の認知度・理解度
 - ・計画の共有（わかりやすい計画）
- 市民によるまちづくりについて
 - ・市民によるまちづくりの考え方
 - ・まちづくりの基本的なルール策定による効果
 - ・市民・行政の役割
 - ・市民の思いが市政やまちづくりに効果的に反映される手段・方法
- 将来に向けた高山市のまちづくりへのご意見など（自由記述）

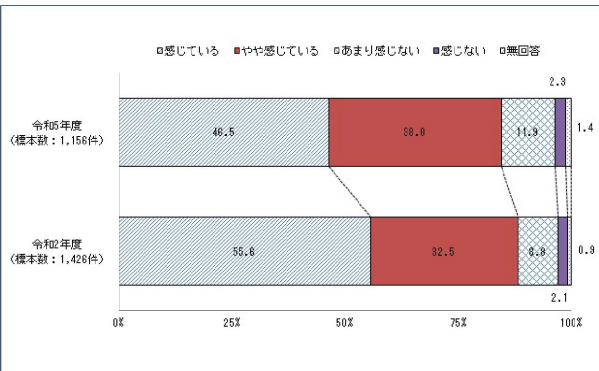
01 | 高山市まちづくりアンケート調査

② 高山市への「誇り」や「愛着」

問1 あなたは、高山市に対し「誇り」や「愛着」を感じていますか。（1つに○印）

- ・「感じている」の割合が最も高い。
- ・「感じている」の割合については、前回（R2）の調査結果に比べ9.1ポイント低下している。一方、「やや感じている」の割合が5.5ポイント上昇している。
- ・「感じている」と「やや感じている」を合わせると84.4%を占めているが、前回（R2）の調査結果（88.2%）に比べ3.8ポイント低下している。

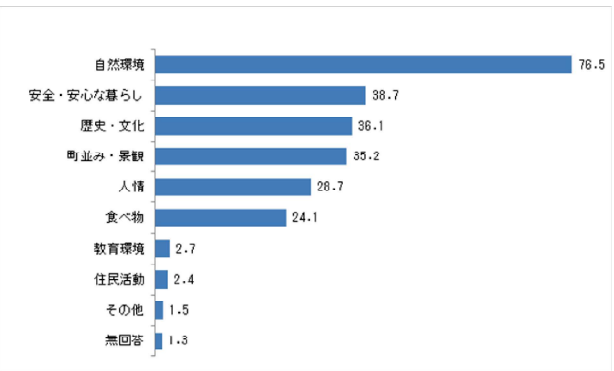
高山市への愛着



問1-2 問1で、「感じている」または「やや感じている」に○をつけた方に伺います。どんなところに「誇り」や「愛着」を感じますか。（3つまで○印）

- ・「自然環境」の割合が最も多い。
- ・上位からの順位は、前回（R2）の調査結果と比べると「歴史・文化」と「町並み・景観」、「教育環境」と「住民活動」は入れ替わっているが、ほぼ同じである。

愛着を感じる要素



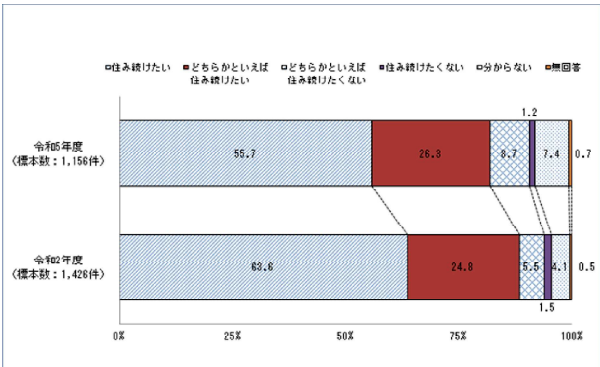
01 | 高山市まちづくりアンケート調査

③ 高山市への定住意向

問2 あなたは、これからも高山市に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

- ・「住み続けたい」の割合が最も高い。
- ・「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」を合わせると82.0%を占めているが、前回(R2)の調査結果(88.4%)に比べ6.4ポイント低下している。

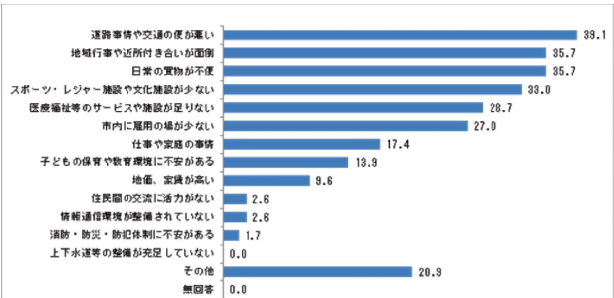
高山市への定住意向



問2-2 問2で、「住み続けたくない」または「どちらかといえば住み続けたくない」に○をつけた方に伺います。高山市に住み続けたくない理由は何ですか。(3つまで○印)

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・前回(R2)の調査結果と比較すると「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高く、順位については、上位5位までは同じである。
- ・前回(R2)の調査結果に比べ割合が特に変動したのは、「市内に雇用の場が少ない」が15.0ポイント上昇し、「道路事情や交通の便が悪い」が3.9ポイント低下している。

住み続けたくない理由



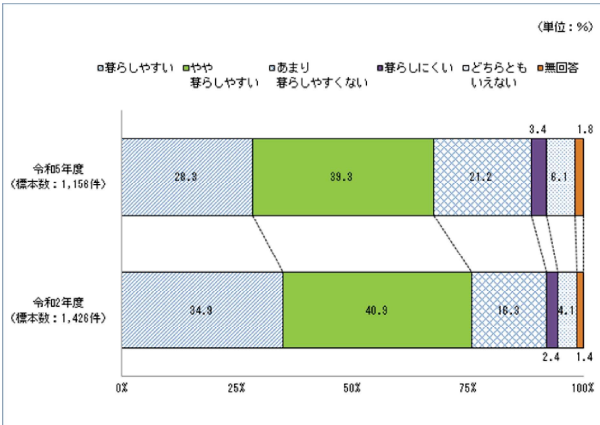
01 | 高山市まちづくりアンケート調査

④ 高山市の暮らしやすさ

問3 全体的に、高山市の暮らしやすさについてどのようにお考えですか。(1つに○印)

- ・「やや暮らしやすい」の割合が最も高い。
- ・「暮らしやすい」と「やや暮らしやすい」を合わせると67.6%を占めており、前回(R2)の調査結果(75.8%)に比べ8.2ポイント低下している。

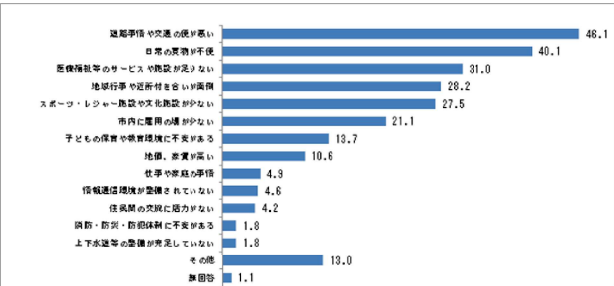
高山市の暮らしやすさ



問3-2 問3で、「暮らしにくい」または「あまり暮らしやすくない」に○をつけた方に伺います。どんなところに暮らしにくさを感じますか。(3つまで○印)

- ・「道路事情や交通の便が悪い」の割合が最も高い。
- ・1位と2位の順位は、前回(R2)の調査結果と同じである。また、前述の「高山市に住み続けたくない理由」(P12参考)の1位と2位の順位とも同じである。
- ・前回(R2)の調査結果に比べ、「医療福祉等のサービスや施設が足りない」の割合が増加し、「市内に雇用の場が少ない」の割合が大きく低下している。

暮らしにくい要素



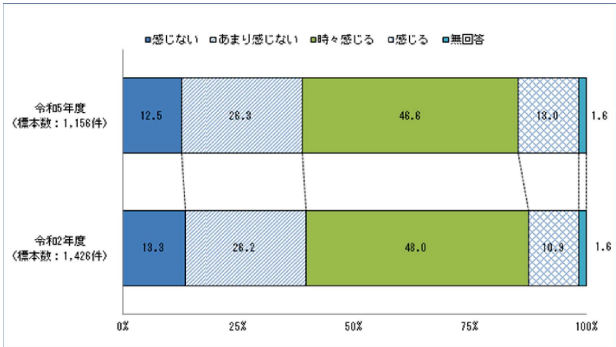
01 | 高山市まちづくりアンケート調査

⑤ 日常生活での不安

問4 あなたは、日常の暮らしの中で不安を感じることはありますか。（1つに○印）

- ・「時々感じる」の割合が最も高い。
- ・「感じる」と「時々感じる」を合わせると59.6%を占め、前回（R2）の調査結果（58.9%）に比べ、0.7ポイント低下している。

日常生活での不安

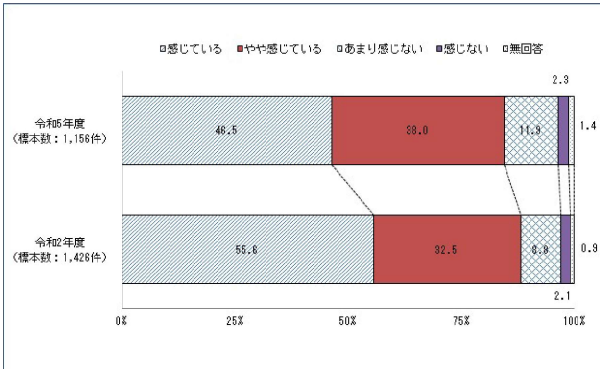


⑥ 働く場としての高山市の魅力

問5 あなたは、働く場としての高山市に魅力を感じますか。（1つに○印）

- ・「経済的な不安」の割合が最も高い。
- ・1位と2位は、前回（R2）の調査結果と同じである。
- ・前回（R2）の調査結果に比べ、「経済的な不安」の割合が大きく上昇しており、「地震、豪雨災害に対する不安」と「伝染病、感染症に対する不安」の割合が大きく低下している。

働く場としての魅力



01 | 高山市まちづくりアンケート調査

⑦ 高山市の今後の重要課題（市民）

【市民アンケート】

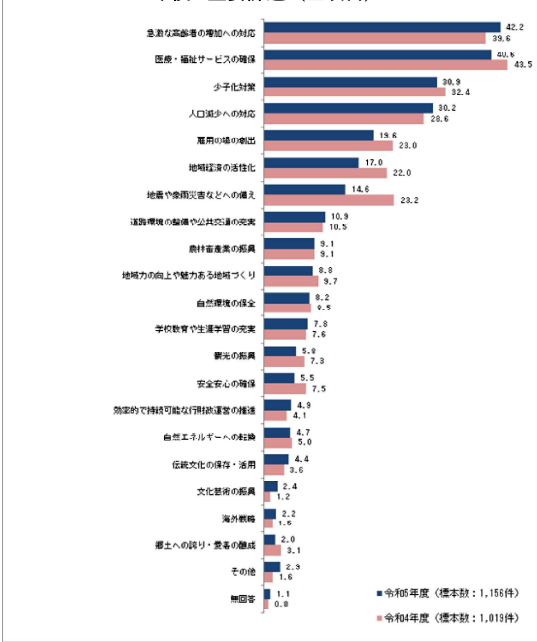
問7 あなたは、今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。（3つまで○印）

- ・「急激な高齢者の増加への対応」の割合が最も高い。
- ・項目については、前回（R4）の調査結果と比べ順位の変動はあるものの、上位10位内は同じである。
- ・前回（R4）の調査結果に比べ、特に「人口減少への対応」と「道路環境の整備や公共交通の充実」の割合が低下し、「地域経済の活性化」の割合が上昇している

今後の重要課題（上位10項目）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回 (R4)	
				順位	回答率 (%)
1	急激な高齢者の増加への対応	488	42.2	2	39.6
2	医療・福祉サービスの確保	469	40.6	1	43.5
3	少子化対策	357	30.9	3	32.4
4	人口減少への対応	349	30.2	4	28.6
5	雇用の場の創出	226	19.6	6	23.0
6	地域経済の活性化	197	17.0	7	22.0
7	地震や豪雨災害などへの備え	169	14.6	5	23.2
8	道路環境の整備や公共交通の充実	126	10.9	8	10.5
9	農林畜産業の振興	105	9.1	10	9.1
10	地域力の向上や魅力ある地域づくり	102	8.8	9	9.7

今後の重要課題（全項目）



01 | 高山市まちづくりアンケート調査

⑦ 高山市の今後の重要課題（団体）

【団体アンケート】

問5 今後、高山市がどのようなことに重点的に取り組むべきだとお考えですか。
（3つまで○印）

・「人口減少への対応」の割合が最も高く、次いで、「少子化対策」、「医療・福祉サービスの確保」となっている。
・前回（H30）の調査結果と比較すると、順位については、1位と2位は同じである。
・前回（H30）の調査結果と比較すると、「医療・福祉サービスの確保」の割合が大きく上昇しており、順位も高くなっている。一方で、「急激な高齢者の増加への対応」の割合が大きく低下しており、順位も下がっている。

今後の重要課題（上位10項目）

順位		回答数 (件)	回答率 (%)	前回（H30）	
				順位	回答率(%)
1	人口減少への対応	78	38.6	1	35.5
2	少子化対策（妊娠、出産への支援、子育てしやすい環境づくり）	74	36.6	2	32.8
3	医療・福祉サービスの確保	50	24.8	7	14.5
4	地域経済の活性化	45	22.3	5	22.6
5	地域力の向上や魅力ある地域づくり	44	21.8	4	23.1
6	急激な高齢者の増加への対応	37	18.3	3	30.6
	雇用の場の創出	37	18.3	6	21.5
8	学校教育や生涯学習の充実	30	14.9	8	12.9
9	地震や豪雨災害などへの備え	29	14.4	11	10.2
10	郷土への誇り・愛着の醸成	22	10.9	15	6.5

今後の重要課題（全項目）

